

地域包括ケアに向けた 薬局の今後の展望

～かかりつけ医との連携、在宅医療～

地域医療構想における2025年の医療提供体制を踏まえ、これから病院・診療所の機能分化、かかりつけ医の普及に向けた施策がますます進むものと考えられます。

平成30年度診療報酬改定の検討項目には、「かかりつけ医とかかりつけ薬剤師・薬局の連携」「末期がんなどの重症患者への在宅医療」などが挙げられております。

今後、在宅医療を進めていくにあたり、必要とされる薬局機能や今後の方向性を把握することが重要です。

株式会社ファーマシイ医療連携部部長・孫氏より厚労省検討会での議論やマネジメント面における課題、調剤報酬改定、地域医療連携などについてご紹介いただきます。

日程

平成30年1月18日木

●セミナー 14:00～16:00(受付開始13:30～)

●意見交換会 16:00～16:30(参加自由)

場所

みどり栗林ビル

(香川県高松市栗林町1丁目18-30)

参加費用

10,000円

講師

株式会社ファーマシイ
医療連携部 部長

孫 尚孝氏

セミナー内容

- ★薬局に必要とされる機能、今後の方向性
- ★厚労省検討会での議論(かかりつけ薬剤師、地域包括ケア)
- ★平成30年度調剤報酬改定について
- ★経営者として薬局での在宅を实际進めるための課題の取り組み事例
- ★地域医療連携の構築

参加者全員に調剤薬局・医療機関向けの情報提供冊子を **無料贈呈**

お問い合わせ・お申し込み



みどり合同税理士法人グループ

〒760-0073 香川県高松市栗林町1丁目18-30 みどり栗林ビル

MIDORI TEL:087-834-0590 FAX:087-834-0121 <http://www.mgrp.jp/>

担当/柏野・楠

お申し込みはお電話またはFAX、弊社ホームページ(セミナー情報)にて受け付けております。

☎0120-310-344 [お電話受付時間] 平日9:00～17:30

【主催】みどり合同税理士法人グループ 株式会社みどり医療経営研究所